

# 令和5年飯田市議会第1回定例会一般質問通告表

令和5年3月9日、10日

No.	氏名	項目・要旨
1	古川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>1 市の生活困窮者への対策について</p> <p>(1) 住む所を失った方への緊急的な対策について</p> <p>① 行政の対応は</p> <p>② 空いている市営住宅利用の考えは</p> <p>③ 緊急的な住宅支援が求められるが市の考えは</p> <p>2 市指定のごみ袋について</p> <p>(1) 今後のごみ袋の在り方について</p> <p>① 若年層への支援の考えは</p> <p>② ごみ袋料金設定の考えは</p>
2	岡田 倫英 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 公共施設の老朽化について</p> <p>(1) 水道施設について</p> <p>① 水道料金改定に係る市民の声をどう受け止めているか</p> <p>② 市民との対話を一層丁寧に重ねていく必要があるのではないか</p> <p>(2) 将来に向けた資産価値、市民サービスをどのように考えていくか</p> <p>① 旧飯田市公民館を含む中央公園一帯はどうか</p> <p>② 大平宿の展望はどうか</p> <p>2 家庭教育支援の施策推進について</p> <p>(1) 議会が行った政策提案「子どもを見守り育む地域社会について」をどう受け止めたか</p> <p>(2) 市の施策展開は課題解決の方策として国の方針と合っているか</p> <p>(3) 今後想定される「こども計画」策定時に家庭教育支援施策を重点的に取り入れる考えはどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
3	市瀬 芳明 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>1 ICT教育への取り組みと教育費について</p> <p>(1) ICT教育の環境について</p> <p>① 国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」への進捗は</p> <p>ア 市の進捗状況は</p> <p>イ タブレット端末の更新の見通しは</p> <p>ウ 飯田市ICT教育情報サイトの運用状況は</p> <p>② 学級閉鎖時等の活用について</p> <p>ア オンライン授業の組み立ては</p> <p>イ その他タブレット端末の有効活用は</p> <p>③ 教育現場の状況について</p> <p>ア ICT支援員の配置状況は</p> <p>(2) 教育費について</p> <p>① 奨学金への考え方は</p> <p>ア 飯田市奨学金貸与への考え方は</p> <p>イ 日本学生支援機構の奨学金に対する支援の考えは</p> <p>② 通学補助の拡大の考えは</p> <p>③ 学校給食費への支援は</p>
4	福澤 克憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 国の地方財政計画、市の長期財政見通しから見た令和5年度予算の考え方について</p> <p>(1) 国の地方財政計画から見た飯田市予算の考え方は</p> <p>(2) 令和5年度予算編成からの長期財政見通しの修正の考え方は</p> <p>(3) 財政運営目標の指標となっている実質公債費比率の見込みは(令和4・5年度(単年度))</p> <p>(4) 今後の方向性は</p> <p>2 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福澤 克憲 (会派きぼう)	<p>(1) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業所訪問や実践型セミナー、個別相談、複数の事業所が合同して行う女性のキャリア教育等の取組状況は</li> <li>② ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度の導入は考えられないか</li> <li>③ 飯田市の契約「総合評価落札方式」について、労働賃金の適正な支払いやワーク・ライフ・バランスの取り組み、女性の働きやすい環境づくりに関する企業認証取得状況等も評価算定基準にすることはできないか</li> <li>④ 電子契約システムの導入時期は</li> </ul> <p>(2) 国の総合経済対策を受けての飯田市の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 物価高騰・賃上げへの考え方は</li> <li>② 円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化の考え方は</li> <li>③ 「新しい資本主義」への考え方は</li> <li>④ 飯田市としての方向性は</li> </ul>
5	小林 真一 (公明党) 【 40 分 】	<p>1 今後さらに進むであろう高齢化社会における課題について</p> <p>(1) 高齢化に伴うごみ出しの課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ごみ集積所の新設は <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 集積所を新設する場合の基準は</li> <li>イ 新設するための基準についての課題認識は</li> </ul> </li> <li>② ごみ出しできない市民への対応は <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 実施している具体的な内容は</li> <li>イ ごみ出しの対応における課題は</li> </ul> </li> <li>③ 「生活支援サービス提供団体等への支援」の考え方、また思いは</li> </ul> <p>(2) ごみ収集運搬業務の委託状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 収集委託料についての考え方は</li> <li>② 委託業者との意見交換などの取り組みは</li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一 ( 公 明 党 )	<p>(3) 在宅介護者支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業の目的は</li> <li>② 事業の利用状況、また過去の予算執行残は</li> <li>③ 事業の目的に対し、市民の実態や要望に寄り添う対応は</li> </ul>
6	永 井 一 英 ( 公 明 党 ) 【 40 分 】	<p>1 多様な子ども・子育て家庭への支援について</p> <p>(1) 学校へ通えない子どもたちへの支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 県教育委員会、文部科学省の調査結果はともに、「2021年度に不登校だった児童生徒は過去最多」と昨年秋に報道された。飯田市内の小・中学校において、不登校になっている児童生徒の現状は。また、考察は</li> <li>② 不登校の児童生徒の居場所として、学校以外の選択肢は何かがあるか。飯田市内の現状は。また、他市の先進事例は</li> <li>③ 2016年に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が成立した。飯田市教育委員会の認識と取り組みは</li> <li>④ 飯田市内におけるフリースクールの現状は。また、飯田市の認識と支援の考え方は</li> <li>⑤ 八王子市は、拠点校として、不登校特例校「高尾山学園」を設置し学校へ通えない子どもたちへの支援に取り組んでいる。飯田市教育委員会の認識は</li> </ul> <p>(2) 特別な教育的ニーズを必要とする子どもへの支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 八王子市立高尾山学園への入学希望者は、校内の適応指導教室にまず入級し、審査を経て転入学する。また、学園内に特別支援教室があり、必要な児童生徒に個別に支援をしている。飯田市の取り組みは</li> <li>② インクルーシブ教育の推進について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 飯田市教育委員会は、本年度、国立特別支援教育総合研究所と連携しインクルーシブ教育の在り方について研究・実証していると聞く。現状と成果は</li> </ul> </li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
7	山 崎 昌 伸 (新政いいだ) 【 50 分 】	<p>1 「子育て」を応援するまちづくりについて</p> <p>(1) 「子育て」と「子育て」という言い回しについての市の認識は</p> <p>(2) 「地域の子どもは地域で育てる」ための今後の取り組みについて、どのように考えているか</p> <p>① 「地域の子どもは地域で育てる」ためには、それに向けての市民の気運の醸成と行政からのメッセージが重要と考えるがどうか</p> <p>② 具体的にどのように取り組むか</p> <p>2 議会からの政策提言等の対応について</p> <p>(1) 2021(令和3)年3月に行った総務委員会からの提案についてどのように対応しているか</p> <p>① 提案1の「好事例の横展開」、提案2の「成果や数値の見える化」について、どのように取り組んできたか</p> <p>② 提案3の「大人も子どもも学びあう」について、提案後に新たに取り組んだことは何か</p> <p>③ 提案4の「市民の誇りの醸成」について、具体的に取り組んだことは何か</p> <p>④ (仮称)環境文化都市実現大会の定期開催を提案したが、どのように考えているか</p> <p>(2) 議会から執行機関側への、行政評価に基づく提言と委員会の所管事務調査に基づく提案について、どのように対応しているか</p>
8	佐々木 博子 (会派みらい) 【 40 分 】	<p>1 とともに創る新しいまちの豊かさについて</p> <p>(1) 飯田市内の入浴施設について</p> <p>① ほっ湯アップルの家庭風呂について</p> <p>ア 利用状況及び現状認識は</p> <p>イ 家庭風呂の料金は最適と考えるか</p> <p>② 誰ひとり取り残さない共生社会に向けて、ユニバーサルな入浴施設の必要性は</p> <p>(2) 男女共同参画社会における消防団・消防団員の在り方について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	佐々木 博子 (会派みらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 家庭における男性の役割の変化と消防団活動をどう考えるか</li> <li>② 地域防災における女性リーダーの可能性は</li> <li>(3) 若年層が「住みたい」と思うまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市の考える「若年層が住みたいまち」とは</li> <li>② 「飯田らしさ」と「発展」のバランスをどう考えるか</li> </ul> </li> </ul>
9	小 平 彰 (新政いいだ) 【 40 分 】	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 飯田市の人口増に向けた取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 飯田市への移住施策について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 空き家について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 空き家の戸数は、また管理不全な空き家は何戸あるか</li> <li>イ 空き家率の推移はどのようになっているか</li> <li>ウ 空き家バンクの活用、補助の実績はどうか</li> </ul> </li> <li>② 飯田市UIJターンについて <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 職業紹介実績はどのようになっているか</li> <li>イ 補助金の活用状況はどうか</li> <li>ウ 他の自治体と差別化した施策はあるか</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) 飯田市への交流人口・関係人口について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 交流人口の状況はどのようになっているか</li> <li>② 交流人口・関係人口の創出をどのように考えるか <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 魅力ある場所をどのように考えているか</li> <li>イ 飯田市に訪問してもらうためにどのような情報発信をしているか</li> <li>ウ 飯田市の施策は移住者のニーズを捉えたものになっているか</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
10	木下 徳康 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 「大学のあるまちづくり」について</p> <p>(1) 信州大学新学部誘致について現状は</p> <p>(2) 研究者や学生が学びたいと思えるまちとは</p> <p>(3) 学生にとって企業の魅力を高めていく必要があると思うがどうか</p> <p>(4) 政府の「都内大学定員増の容認」の方針について</p> <p>① この方針をどう捉えたか</p> <p>② 地方大学である信州大学の新学部設立への影響をどう捉えるか</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の今後について</p> <p>(1) 現状と5類移行に備えるべきことは</p> <p>(2) 市として検証し、後世に伝えるべきと考えるがどうか</p> <p>① 残すべき行政の資料とはどのようなものが考えられるか</p> <p>② 行政としての資料や市民の罹患や活動自粛などの体験等も含めた記録を冊子にまとめてはどうか</p> <p>(3) ワクチン接種の情報の保存期間5年は短くないか</p>
11	関島 百合 (会派みらい) 【 40 分 】	<p>1 水道料金の改定について</p> <p>(1) 料金改定と市民生活への影響について</p> <p>① 値上げをしなければいけない理由は</p> <p>② 今日に至るまで料金改定をしなかった理由と諮問の内容は</p> <p>③ 値上げ対象は飯田市全域にわたるか</p> <p>④ 下水道使用料も値上げを行うか</p> <p>⑤ 上下水道の今後の経営見通しは</p> <p>⑥ 市民生活への影響をどのように考えているか</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) 保育園で発生したオムツについて</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	関 島 百 合 (会派みらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 持ち帰りを廃止して保育園で処分する動きがあるが、市の現状は</li> <li>② 持ち帰りと保育園での処分のそれぞれのメリットとデメリットは</li> <li>③ 市の今後の方針は</li> </ul> 3 ゲノム編集された農産物について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市の考えは</li> <li>(2) 市が独自に進めている認証制度との関係性をどうとらえるか</li> <li>(3) ゲノム編集されたトマトの苗が小学校や福祉施設へ無償で配布されることについて、打診があった際の市の対応は</li> </ul>
12	竹 村 圭 史 (会派きぼう) <b>【 40 分 】</b>	1 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う5月8日以降の診療体制について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類は5類への移行が決定されたが、今後の感染予想をどのように分析しているか</li> <li>(2) 飯田市立病院の現在の診療体制は</li> <li>(3) 5類移行後の診療体制について               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国の方針は</li> <li>② 国の方針に対する飯田市立病院としての考え方は</li> </ul> </li> <li>(4) この地域の診療体制の確保について</li> </ul> 2 飯田市立動物園の所管の考え方について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 飯田市立動物園の設置目的は</li> <li>(2) 飯田市として飯田市立動物園の所管についてどのように考えているか</li> <li>(3) 「賑わいのあるまちづくり」に向けて               <ul style="list-style-type: none"> <li>① まちなか回遊の果たすべき役割は</li> <li>② まちなか回遊における飯田市立動物園の果たすべき役割は</li> <li>③ まちなか回遊を進めるにあたり、戦略バスケットは本来の機能を十分発揮できているか</li> </ul> </li> <li>(4) 飯田市立動物園に求められる役割は</li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	竹 村 圭 史 (会派きぼう)	(5) 今後の所管の考え方について  ① 飯田市立動物園の求められる役割をみたときに、所管替 えの検討を考える必要があると思うが、市長の考えは